

## 二百名山 金剛堂山

日時： 2021年8月3日～4日

参加者： K村

コース 8月4日（水）

利賀キャンプ場 = 栃谷登山口 4:40 - 片折岳 7:25 - 1451m ピーク 8:25 - 金剛堂山 9:35/10:10  
- 中金剛堂山 10:25/10:30 - 金剛堂山 10:50/11:10 - 片折岳 12:50 - 登山口着 15:45

当初は8月1日を予定していたがコロナ感染者が急増したため中止。しかしこのままでは何時になったら登ることができるようになるのか全く見通しが立たないため天気予報を見ながら8月4日登頂予定で再準備にとりかかる。1泊となるため宿泊、食料など荷が大幅に増えるが、一人旅なのでのんびり走りゆっくり登ることにする。



栃谷登山口 駐車場



8月3日（火）

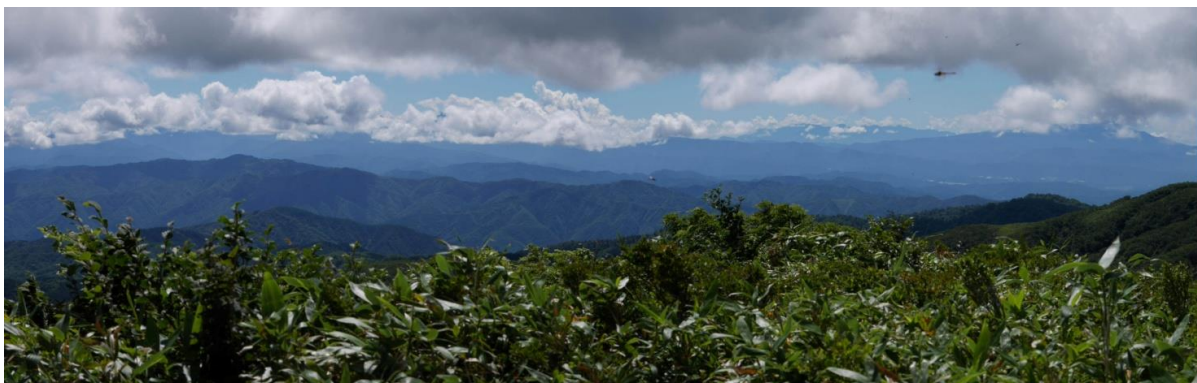
上信越道東部湯の丸ICを降りて松本を経てR158号線をのんびり走り、平湯から高山へ、高山で食料を調達し登山口へ向かう。樽峠越えの国道471号線はそれまで林道(?)だったものを格上げしただけの国道のようで、道幅は狭く未舗装区間は草が生えており、ダンプカーなどの大型車は現時点では通行は不可(?)で、乗用車か長さが短い小型のトラックであれば通行可能と思われるが、ガードレール無し、見通しの悪いカーブ箇所のミラー無し。すれ違い時の待避場所無し(幸い山中では対向車がなくて助かった、というより趣味か、道路の状態を知らない者、国道沿いに点在する小集落の住民以外は滅多に通らないようだ)、未だ安全設備が無い国(酷)道です。

無事に栃谷登山口の駐車場に着いたが、「虻」の襲来を受ける。ここでテントを張るのは不可のため早々に下流の利賀キャンプ場へ引き返しテント泊とする。利用料は@=¥3000と高い。最近の天気を聞くと大体曇り空で夕方になにか雨が降るとのことだ。今日もキャンプ場から見上げる稜線には雲がかかっているが夜は久しぶりに満点の星空を眺めることができた。明日の天気は期待できそうだ。





金剛堂山山頂の祠と一等三角点



雲に覆われた北アルプスの稜線(金剛堂山より)

始めた。日差しが無くなる分涼しくなるのは有り難いが雷雨は怖いので直ちに下山。1451m ピーク点ま

8月4日

キャンプ場を早朝4時半に引き払い栃谷登山口へ、天気は雲は多目ながらもまずまずだ。早朝でまだ気温も低いので蛇の襲来は無く一安心。

4時40分に出発する。登山口駐車場から写真の赤線の方向に進み鉄の橋を渡り枝沢沿いに暫く進み沢を徒渉する。水の補給はここが最後である。登山口にも立派な水場があるが必要ならば補給をしておこう。徒渉後はジグザグや階段の道となり高度を稼ぐ。

旧スキー場からの道と合流するピーク(約1000m)からは暫く平坦な道となるが再び急登となって登り切ると片折岳(1346m)の小ピークだ、50m程下って再び登りとなるが早足ならば気付かずに通り過ぎてしまいそうな小ピーク(1451m)を経て更に180m程登ると傾斜が緩くなって金剛堂山[前金剛]山頂(1637m)に立つことができた。

山頂には一等三角点があり山名にふさわしい立派な石の祠が建立されている。眺めは360度申し分無しだが白山、北アルプスの稜線は雲に覆われ定かでは無かった。

ここに荷を置いて最高峰の中金剛堂山(1650m)を往復する。稜線は池塘も点在するなだらかな草原で夏の暑い陽ざしが無ければ暫し寝転んでトカゲでもしたくなる気持ちの良い所だ。

金剛堂山に戻るころには上空が雲に覆われ





中金剛堂山(金剛堂山より)



最高峰の中金剛堂山(1650m)

では急いで下る。雷雨の心配も無くなったので以後は20～30分置きに10分程休憩して膝に負担をかけないようにゆっくり下る。しかし簡易なトレーニングはやっていたが暫く山に登っていないため下りでは左足首がつったり、右足に痛みが出たりする。もう無理はできないので、「休んで症状がなくなるまで待つ」を繰り返しながら、少しずつ高度を下げて登山口まで無事降りてくることができた。

今回は登山者には一人も合わなかった。コロナ禍と真夏の酷暑の折2000m以下の山に登る人は少ないと思っていたが・・・、代わりに待っていたかのように蛇の襲来を受けることに。車内に蛇が入らないようタイミングを計って乗り込む。近くの天竺温泉は本日水曜日で定休日のため、利賀キャンプ場にてシャワーで汗を流し、さっぱりして帰途に着く。復路も往路と同じ道を走ることになり、明るい内に国(酷)道471号線を通り抜けて高山で夕食を取ることができた。自宅には翌朝5時頃無事到着する。今回の金剛堂山登頂は199座目であるが実質二百名山は踏破したことになる。

る。最後の桜島は現在(これから先も当分の間)展望台迄でしか行けず、登山はできないためだ。

おわりに、突然の下山連絡を快く引き受けて下さった森島さん、ありがとうございます。そしていつものことながら出発間近に計画書の提出で山行部の皆様方には迷惑ばかりおかけしておりますが快く受領していただきありがとうございます。